

課題対応取組み報告書

名称	旭区地域包括支援センター
提出日	令和6年6月29日

カテゴリー (※主なものをひとつチェック)	<input type="checkbox"/> 地域や専門職とのつながり等 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症高齢者等の支援 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 社会資源の創設(居場所づくり等) <input type="checkbox"/> 自立支援・介護予防・健康づくり等
活動テーマ	認知症等高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるように	
地域ケア会議から 見えてきた課題	①地域ケア会議の事例の93%は認知症高齢者である。また精神疾患等があり、地域から孤立している。 ②本人・キーパーソンに精神疾患があり、8050問題等複合的な課題を抱え支援困難となっており、ケアマネジャーは対応に苦慮している。	
対象	地域住民 ケアマネジャー 地域包括支援センター職員	
地域特性	高殿地域に閉目高殿駅があり、交通の便がよい。また大宮地域に区役所・区民センターがあり、旭区包括圏域内は、阪急オアシス、業務スーパー、ライフ、万代、サンディ等のスーパーもあり、生活しやすい環境であるが、城北川が横断しており、その川を渡ることが不便である。大宮地域に比較すると、高殿の集会所は、高殿南老人憩いの家と高殿会館しかない。 高齢化率は大宮32.6%、高殿29.5% 高殿南30.6%と大阪市内高齢化率の24.8%より高い。 また、高齢化率57%、単身世帯率46%のA集合住宅がある。 総合相談件数が令和2年度7,087件、令和3年度8,719件、令和4年度9,582件と激増している。ふれあい喫茶等で地域包括支援センター(以下「包括」という)の周知による効果もあると考えられる。	
活動目標	①地域住民の方々に対し、認知症への理解を深めることができる。 ②ケアマネジャーのスキルアップを目指す。 ③地域包括支援センター職員のスキルアップを目指す。	
活動内容 (具体的取組み)	①- 1 地域住民等に対する認知症の正しい知識の普及 ・ちょこっと相談会(医師による認知症の説明と相談会) ・認知症サポーター養成講座開催(単発講座を5回開催) ・「ぼけますからよろしく願いいたします」(認知症高齢者と家族のドキュメンタリー映画上映) (区内包括で合同開催) ・医師による健康相談会(A集合住宅の住民対象) ①- 2 認知症予防啓発活動 ・ゲームリーダー養成講座(5回連続講座) ・もの忘れの気になる人の会(高殿) ・もの忘れの気になる人の会(大宮) ・ゲームリーダーフォローアップ講座 ② ケアマネジャーの対応力向上支援 ・複合的な課題を抱える事例(8050問題)検討(区内包括で合同開催) ・虐待防止研修会(区内包括で合同開催) ・つながろう ひろげよう あさひ区の輪(認知症対応力向上研修会)(区内包括で合同開催) ③ 地域包括支援センター職員の資質向上 ・地域ケア会議の振り返り会議(外部講師がスーパーバイザーとして出席) ・包括職員対象とした弁護士相談会を開催 ・積極的な研修会への参加 ・随時ミーティングを開催(個別ケースの支援方針共有)	

<p style="text-align: center;">成果 (根拠となる資料等があれば添付すること)</p>	<p>①-1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちよこつと相談会 20名参加（アンケート回答11名） 講座終了後のアンケートでは、講座が今後の生活に「とても役に立つ」と答えた参加者が7名「役に立つ」と答えた参加者が4名であった。 認知症高齢者の介護負担が大きく、疲労感がある家族も参加していたが、「医師に相談にのってもらい気持ちになりました」と笑顔で帰られた。 ・認知症サポーター養成講座 計118名参加 講座終了後のアンケートでは「認知症」「認知症の対応」について、回答者全員が「大変よかったです」「まあまあよかった」と答えていた。 ・映画「ぼけますからよろしくお願いします」参加者155名（アンケート回答143名）（別紙1参照） 映画について、「大変よかった」という意見が多く、高評価を得た。 ・医師による健康相談会（別紙2参照） 参加者からは「このような機会を開いてほしい」「親切に話を聞いてくださり、とても安心した」「自らの状況を見極めるのは大変難しいので、地域での交流が大切だと思った」等の意見があった。 <p>①-2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームリーダー養成講座 卒業者のうち2名ゲームリーダーとなった。 ・もの忘れの気になる人の会（高殿） 計164名参加 ・もの忘れの気になる人の会（大宮） 計169名参加 参加者は笑顔で「楽しかった」と言い、それを見ているゲームリーダーもやりがいを感じている。 ・ゲームリーダーフォローアップ講座 ・2名のゲームリーダーが受講した。 ・講師より「継続できていることが素晴らしい。ゲームの進行の仕方が上手になっている」と言われ、ゲームリーダーのモチベーションアップにつながっている。 <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複合的な課題を抱える事例（8050問題）検討会 ケアマネジャー63名と相談支援専門員10名が参加。 ・虐待防止研修会 63名参加（アンケート回答45名） 「これから虐待を疑う事例に遭遇したら通報しようと思いますか？」の質問に44名が「はい」とが回答した。 ・つながろうひろげようあさひ区の輪（認知症対応力向上研修会） 6/14 5名参加、10/13 3名参加。 <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議振り返り会議 包括職員6名 総合相談窓口（ランチ）職員1名が出席。 支援方針、地域ケア会議開催について振り返りをすることで本人の生活歴を考慮し、言葉を選びながら説明することが理解できた。また支援方針が間違っていなかったこと、成年後見制度につなげることの重要性を再認識することができた。
<p style="text-align: center;">今後の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化の進行により、認知症高齢者が増加している。また精神疾患がある人が認知症になるリスクも高くなり、複合的な課題を抱える事例が増加すると考えられる。 ・地域で孤立している複合的な課題を抱える事例が多く、どのように支援するのかを考える必要がある。 ・高齢化が進行しているA集合住宅に対し、継続した支援が必要である。
<p>※以下は、区運営協議会事務局にて記入</p>	
<p style="text-align: center;">区地域包括支援センター 運営協議会開催日</p>	<p>令和6年7月24日（水）</p>
<p style="text-align: center;">専門性等の該当 (※該当個数は問わない)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 地域性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続性 <input checked="" type="checkbox"/> 浸透性 <input checked="" type="checkbox"/> 専門性 <input checked="" type="checkbox"/> 独自性</p>
<p style="text-align: center;">評価できる項目（特性） についてのコメント</p> <p>※今後の取り組み継続に向けて、区地域包括支援センター運営協議会からの意見等を記載。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症等高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるように地域住民を対象とした様々な講座や相談会を実施されている。地域の関係者と連携して地域分析に基づき特定の住宅における健康相談会等を実施するなど、工夫を重ねながら認知症の正しい理解の普及に努められている点は「地域性」「継続性」に該当すると考える。医師による出張相談会は住民にとっては非常に心強いと考えられるため、今後同じような集合住宅等を把握した場合には、課題解決に向けて他の住宅でも取組みを展開していただきたい。 ・地域ケア会議や研修を積極的に活用した職員の資質向上の取組みはPDCAサイクルを回しながら継続的に行われており、「継続性」があるといえる。 ・ケアマネジャーの知応力向上のための事例検討会や研修会は、ケアマネジャーのスキルアップの一助となっており、「継続性」や「浸透性、拡張性」「専門性」に該当すると評価できる。 ・独自の取組みである認知症予防啓発活動は地域住民と連携し、PDCAサイクルを回しながら継続されており、その活動は区内の他包括の圏域にも広がっている。今後も引き続き地域に根差した活動を発展させていきたい。